

理数探究 4年次 中間発表会 実施要項

■ 2 / 1 (水), 2 / 8 (水), 3 / 8 (水) 7 時限目

■ 2 ゼミを合体させて実施 (文系ゼミ + 理系ゼミ) ※別紙参照

■ 帰りの S H R ・学活は 5 分間 (15:40~15:45)

■ 発表 4 名の場合

15:55~16:09 発表 1 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

16:09~16:23 発表 2 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

16:23~16:37 発表 3 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

16:37~16:51 発表 4 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

■ 発表 3 名の場合

15:55~16:00 発表準備

16:00~16:14 発表 1 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

16:17~16:31 発表 2 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

16:34~16:48 発表 3 (発表 1 0 分, 質疑応答 4 分)

■ スライドによる口頭発表 (枚数は自由)

■ 口頭発表スライドは Goole ドライブ (Chatwork 参照) に入っていますので, 開いて発表をして下さい。

■ 5 年次生が司会, タイムキーパー (当日決めて下さい)。

■ タイムキーパーは A L タイマーを使って下さい。

■生徒はコメント票（良かったところ，質問，アドバイス）を記入する（コメント票の印刷も人数分お願いします）。

各発表者の発表終了後，コメント票を後ろから回収し，発表者に渡す。

■中間発表会のねらい

- 仮テーマによる実証探究の成果をまとめる。
- テーマを再考して提案し，客観的なアドバイスを通して，正式テーマ決定の参考にする。
- 人に分かりやすく伝える力の育成
- 5年次生は自分の経験を活かしてアドバイスすることにより，探究の道のりを振り返り，探究力を深化させる。

■教室は座席を『口の字型かコの字型』に配置していただくと，お互いの顔が見えて質疑応答が活性化しやすいと思います。どのような形でもかまいませんので，各クラスの状況に合わせて，質疑応答が活性化するような雰囲気づくりをお願いします。

発表者が2名の教室のモデルケース

（あくまでモデルケースですので，この通りにしなくても全く問題ありません）

- （i）口頭発表 10分
- （ii）コメント票に各自記入 2分
- （iii）2人1組でペアワーク（コメント票に書いたことを共有＋意見交換） 4分
- （iv）質疑応答 4分